

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場会社名 大東港運株式会社 上場取引所 大
 コード番号 9367 URL <http://www.daito-koun.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 曾根 好貞
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 荻野 哲司 (TEL) 03-5476-9701
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	13,820	9.5	430	△12.7	415	△12.9	192	△19.9
23年3月期第3四半期	12,623	12.8	493	91.8	477	107.3	239	202.6

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 209百万円(△8.8%) 23年3月期第3四半期 229百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	20.46	—
23年3月期第3四半期	25.52	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,168	3,285	35.8
23年3月期	9,261	3,141	33.9

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 3,285百万円 23年3月期 3,141百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	7.00	7.00
24年3月期	—	0.00	—		
24年3月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,700	1.6	330	△34.9	310	△34.0	170	△26.1	18.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

24年3月期3Q	9,389,000株	23年3月期	9,389,000株
24年3月期3Q	2,493株	23年3月期	2,493株
24年3月期3Q	9,386,507株	23年3月期3Q	9,386,507株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想に関する情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

※当社は、平成24年2月10日に、四半期決算説明資料「第63期（平成24年3月期）第3四半期決算説明資料」を当社ホームページに掲載しております。

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日～平成23年12月31日)におけるわが国経済は、東日本大震災後のサプライチェーンの混乱は解消され、消費活動、労働市場もゆっくりと回復に向かいました。しかしながら欧州での財政・金融不安の継続、欧米通貨に対する大幅な円高水準の定着、タイで発生した洪水災害による国内製造業への影響等により、生産活動の回復は緩慢、また輸出も大幅に減少しました。

かかる先行き不透明な環境下、当第3四半期連結累計期間における当物流業界におきましては、輸出は海外景気の減速により低迷しているものの、輸入に関してはアジア・欧州を中心に緩やかな増加となりました。

その中で食品は水産物および果実・野菜等は微増で推移し、畜産物は多少の増加となりました。

また鋼材の国内物流取扱いにおいても、震災の影響により原料価格の上昇や自動車関連鋼材の需要減少がみられました。

このような状況の中、当社グループは第4次中期経営計画『お客さま信頼度ナンバーワンを目指して』をスタートさせ全社を挙げて取り組んでまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高は前年同期間比9.5%増の138億20百万円となりました。一方連結経常利益は、人件費と新基幹システム稼働に伴う減価償却費が増加し、前年同期間比12.9%減の4億15百万円となりました。また連結四半期純利益は、法人税率の引下げに伴う繰延税金資産の一部取り崩しによる法人税等調整額の増加などにより前年同期間比19.9%減の1億92百万円となりました。

セグメント別の営業状況は、次のとおりであります。

[港湾運送事業及び港湾付帯事業]

港湾運送事業は、港湾施設使用料収入が増加したため、売上高は前年同期間比14.6%増の68億76百万円となりました。

陸上運送事業は、トラック運送料収入が増加したため、売上高は前年同期間比10.2%増の23億86百万円となりました。

倉庫業は、入出庫料収入が増加したため、売上高は前年同期間比10.9%増の24億30百万円となりました。

通関業は、輸入食品衛生検査料収入が減少したため、売上高は前年同期間比6.5%減の18億50百万円となりました。

この結果、港湾運送事業及び港湾付帯事業の売上高は前年同期間比9.8%増の135億44百万円となり、セグメント利益は前年同期間比1.6%増の9億91百万円となりました。

[その他事業]

その他事業は、構内作業料収入が減少したため、売上高は前年同期間比3.1%減の2億76百万円となったものの、不動産修繕費の減少によりセグメント利益は25百万円となりました。

セグメント別売上高

区分	前第3四半期連結累計期間 自平成22年4月1日 至平成22年12月31日		当第3四半期連結累計期間 自平成23年4月1日 至平成23年12月31日		前年同期間比	
	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	増減比 (%)
港湾運送事業及び 港湾付帯事業	12,338,922	97.7	13,544,099	98.0	1,205,177	9.8
港湾運送事業	6,000,860	47.5	6,876,530	49.7	875,670	14.6
陸上運送事業	2,165,433	17.1	2,386,024	17.3	220,591	10.2
倉庫業	2,192,506	17.4	2,430,563	17.6	238,056	10.9
通関業	1,980,121	15.7	1,850,981	13.4	△129,140	△6.5
その他事業						
その他事業	284,811	2.3	276,110	2.0	△8,700	△3.1
合計	12,623,733	100.0	13,820,210	100.0	1,196,476	9.5

(注) 上記の金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(総資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は91億68百万円となり、前連結会計年度に比べ92百万円減少いたしました。主な要因は現金及び預金が8億16百万円、有形・無形固定資産が1億88百万円それぞれ減少した一方、受取手形及び営業未収入金が7億45百万円、投資有価証券が1億3百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債は58億83百万円となり、前連結会計年度に比べ2億36百万円減少いたしました。主な要因は支払手形及び営業未払金が2億62百万円増加した一方、短期および長期借入金が3億34百万円、未払法人税等が1億47百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は32億85百万円となり、前連結会計年度に比べ1億44百万円増加いたしました。主な要因は利益剰余金が1億26百万円、土地再評価差額金が25百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

現時点では、通期の連結業績予想につきまして、平成23年5月19日に公表した数値に変更はございません。

今後の動向により業績予想の変更が必要な場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,001,527	1,185,428
受取手形及び営業未収入金	2,593,450	3,338,848
たな卸資産	185,597	273,234
前払費用	34,512	58,021
繰延税金資産	121,968	56,165
その他	323,379	265,033
貸倒引当金	△17,244	△21,672
流動資産合計	5,243,191	5,155,061
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	444,522	417,367
機械装置及び運搬具(純額)	7,191	4,767
土地	1,412,637	1,412,637
リース資産(純額)	75,400	62,748
その他(純額)	56,768	41,912
有形固定資産合計	1,996,520	1,939,432
無形固定資産	620,245	568,661
投資その他の資産		
投資有価証券	386,691	490,174
破産更生債権等	167,955	170,540
繰延税金資産	360,736	351,361
その他	649,465	662,105
貸倒引当金	△163,365	△168,618
投資その他の資産合計	1,401,482	1,505,563
固定資産合計	4,018,248	4,013,657
資産合計	9,261,440	9,168,718

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,622,725	1,884,741
短期借入金	1,164,663	942,013
未払法人税等	173,470	25,587
賞与引当金	219,173	113,827
その他	392,799	481,699
流動負債合計	3,572,833	3,447,868
固定負債		
長期借入金	1,206,018	1,094,338
再評価に係る繰延税金負債	213,666	187,701
退職給付引当金	938,886	978,927
役員退職慰労引当金	1,590	1,803
長期末払金	92,990	92,990
その他	93,892	79,430
固定負債合計	2,547,044	2,435,191
負債合計	6,119,877	5,883,059
純資産の部		
株主資本		
資本金	856,050	856,050
資本剰余金	625,295	625,295
利益剰余金	1,656,562	1,782,872
自己株式	△909	△909
株主資本合計	3,136,997	3,263,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△811	△8,280
土地再評価差額金	3,885	29,849
為替換算調整勘定	1,490	782
その他の包括利益累計額合計	4,564	22,351
純資産合計	3,141,562	3,285,659
負債純資産合計	9,261,440	9,168,718

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
営業収益	12,623,733	13,820,210
営業原価	9,818,604	10,919,507
営業総利益	2,805,128	2,900,702
販売費及び一般管理費	2,311,800	2,469,861
営業利益	493,328	430,841
営業外収益		
受取利息	4,674	3,430
受取配当金	5,606	6,540
受取保険金	2,695	537
受取地代家賃	2,999	3,400
負ののれん償却額	2,790	—
その他	6,377	7,281
営業外収益合計	25,143	21,190
営業外費用		
支払利息	35,330	30,330
複合金融商品評価損	—	4,800
為替差損	778	—
その他	5,095	1,292
営業外費用合計	41,204	36,423
経常利益	477,267	415,608
特別利益		
固定資産売却益	297	349
貸倒引当金戻入額	565	—
特別利益合計	862	349
特別損失		
固定資産除却損	1,292	114
投資有価証券評価損	35,729	7,149
災害による損失	—	1,325
ゴルフ会員権評価損	1,250	1,400
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	6,720	—
特別損失合計	44,992	9,989
税金等調整前四半期純利益	433,137	405,968
法人税、住民税及び事業税	158,177	133,159
法人税等調整額	35,389	80,793
法人税等合計	193,566	213,952
少数株主損益調整前四半期純利益	239,570	192,015
四半期純利益	239,570	192,015

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	239,570	192,015
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,731	△7,469
土地再評価差額金	—	25,964
為替換算調整勘定	△2,871	△708
その他の包括利益合計	△9,602	17,786
四半期包括利益	229,968	209,802
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	229,968	209,802
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	港湾運送事業及 び港湾付帯事業	その他事業	合 計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	12,338,922	284,811	12,623,733	—	12,623,733
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	28,727	28,727	△28,727	—
計	12,338,922	313,538	12,652,460	△28,727	12,623,733
セグメント利益 又は損失 (△)	975,742	△6,359	969,382	△476,054	493,328

(注) 1. セグメント利益の調整額△476,054千円には、セグメント間取引消去△28,727千円、各報告セグメントに配分できない全社費用447,327千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結損益計 算書計上額 (注) 2
	港湾運送事業及 び港湾付帯事業	その他事業	合 計		
営業収益					
(1) 外部顧客に 対する営業収益	13,544,099	276,110	13,820,210	—	13,820,210
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	—	52,495	52,495	△52,495	—
計	13,544,099	328,605	13,872,705	△52,495	13,820,210
セグメント利益	991,609	25,874	1,017,483	△586,642	430,841

(注) 1. セグメント利益の調整額は、全社費用586,642千円であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

該当事項はありません。